

令和3年度後期 情報検定

<実施 令和3年12月19日(日)>

1級

(説明時間 13:20~13:30)

(試験時間 13:30~14:30)

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙(マークシート)への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後、次のページを開いてください。<受験上の注意>が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式(太陽電池を含む)以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓(計算状態表示の一行は含まない)
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - *パソコン(電子メール専用機等を含む)、携帯電話(PHS)、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は17ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後の合否結果（合否通知）、および合格者への「合格証・認定証」はすべて、Web認証で行います。
 - ①情報検定（J検）Webサイト合否結果検索ページ及びモバイル合否検索サイト上で、デジタル「合否通知」、デジタル「合格証・認定証」が交付されます。
 - ②団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。

問題 1 次の 2 進数に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータの内部では、電気のオンとオフのように、二つの状態で情報を記録している。このような状態を 0 と 1 という数値に置き換え 2 進数で表す。2 進数は 2 を基数とする数の表現方法である。なお、2 進数 1 桁を 1 ビットで表す。

<設問 1> 次の基数変換に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

10 進数から 2 進数へ変換するには、整数部を図 1 のように計算する。10 進数の値を 2 で割った商と余りを商が 0 になるまで求め続け、余りを計算とは逆順に並べる。

2) 23	
2) 11 ... 1	↑ 最後に算出した余りから 最初に算出した余りの方向へ 並べ (10111) ₂ となる
2) 5 ... 1	
2) 2 ... 1	
2) 1 ... 0	
0 ... 1	

図 1 10 進数の 23 を 2 進数へ変換する

小数部は図 2 のように、10 進数の値に 2 を乗じ、結果の整数部を除き、小数部が 0 になるまで続ける。最後に、除いた整数部を計算した順に並べる。

	積の整数部	
0.625 × 2 = 1.250	1	↓ 除いた整数部を計算した 順に並べ (0.101) ₂ となる
0.25 × 2 = 0.5	0	
0.5 × 2 = 1.0	1	

図 2 10 進数の 0.625 を 2 進数へ変換する

また、2 進数から 10 進数へ変換するには、図 3 のように 2 進数の各桁の重みがあるので、1 の箇所の重みを加算する。

重み	2 ⁴	2 ³	2 ²	2 ¹	2 ⁰	2 ⁻¹	2 ⁻²	2 ⁻³	
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
2 進数	1	0	1	1	1	1	0	1	
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	16	+ 0	+ 4	+ 2	+ 1	+ 0.5	+ 0	+ 0.125	= (23.625) ₁₀

図 3 2 進数の 10111.101 を 10 進数へ変換する

このような考え方で、10進数の19を2進数に変換すると であり、12.5を2進数に変換すると である。

また、2進数の1011.11を10進数に変換すると になる。

(1) の解答群

ア. 10001 イ. 10011 ウ. 11001 エ. 11101

(2) の解答群

ア. 101.01 イ. 110.01 ウ. 1010.1 エ. 1100.1

(3) の解答群

ア. 10.375 イ. 11.75 ウ. 22.375 エ. 22.75

<設問2> 次の2の補数に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

コンピュータ内部では、負数を2の補数で表現している。

2の補数は、2進数で表現されたすべてのビットを反転し1を加えることで求めることができる。

例えば、10進数の-3を4ビットの2進数で表現する手順を図4に示す。

① -3の絶対値である	3を2進数で表現する	0 0 1 1	
② 0と1を反転する		1 1 0 0	… 1の補数
③ 1を加える	+)	1	
(-3) ₁₀ の2進数		1 1 0 1	… 2の補数

図4 (-3)₁₀の2進数表現

2の補数を利用して負数を表現する場合、負数であれば必ず先頭の1ビットの値は1になる。これを利用して負数を扱う場合の2進数を10進数へ変換する。つまり、先頭の1ビットの値が0であれば、そのまま10進数へ変換するが、先頭の1ビットの値が1であれば、その2進数の2の補数をとってから10進数へ変換し、マイナス記号を付けて変換結果とする。

図4と同様に、4ビットの2進数で負数を表現する場合、10進数の-5を2進数に変換すると であり、2進数の1001を10進数に変換すると である。

(4) の解答群

- ア. 0001 イ. 0011 ウ. 1011 エ. 1101

(5) の解答群

- ア. -8 イ. -7 ウ. -6 エ. -5

<設問3> 次の固定小数点数に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

コンピュータ内部で、小数点を一定の位置に固定して数値を表現する方法に固定小数点数がある。小数点の位置を最後に固定すると図5のようになる。

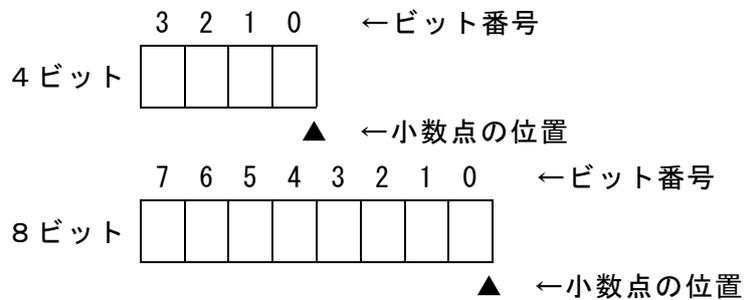


図5 固定小数点表現の例

4ビットの固定小数点数で数値を表現するとき、正数のみを表すと、表現できる範囲は (6) となる。

また、8ビットの固定小数点数で2の補数を用いて負数も表現すると、表現できる範囲は (7) となる。

ここで8ビットの固定小数点数で、小数点の位置がビット番号の2と3の間にあるとすると、10進数の-13.25は2の補数表現で (8) となる。

(6) , (7) の解答群

- ア. -128~+128 イ. -128~+127 ウ. -127~+127
エ. 0~15 オ. 0~16 カ. 1~16

(8) の解答群

- ア. 10010101 イ. 10010110
ウ. 10011101 エ. 11001101

問題2 次のオペレーティングシステムに関する記述を読み、各設問に答えよ。

オペレーティングシステム(OS)は、周辺装置を含むコンピュータのハードウェアを有効活用し、ハードウェアとソフトウェアを仲介する役割を果たす。また、ユーザが利用しやすいようなヒューマンインタフェース環境も整えている。

<設問1> 次のオペレーティングシステムの機能に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

オペレーティングシステムは、さまざまな機能を持つプログラムの集合体である。主な機能に次のようなものがある。

① タスク管理

タスクはコンピュータが処理を行うときの実行単位である。タスクを実行するにはメモリが必要であり、タスクの生成から消滅までのメモリの割り当てと解放を行う。また、複数のタスクを並行して実行する仕組みを□□(1)□□という。各タスクのCPUの使用時間を□□(2)□□という微細な時間に区切り、高速に切り替えることで複数のタスクが同時並行で実行されているように見せる仕組みである。また、CPUの使用時間をどのタスクに割り当てるかは、優先度順や到着順などいくつかの方法があり、その中で到着順に一定の□□(2)□□を割り当てる方式を□□(3)□□という。

② データ管理/ファイル管理

ファイルシステムとも呼ばれ、データ操作を単純化してユーザに提供する機能である。ファイル編成方式やアクセス方式などが提供される。

③ 記憶管理

主記憶装置を効率よく利用するための機能で、実記憶管理と仮想記憶管理がある。また、割り当てられたメモリ以外の領域をアクセスすることを防ぐ機能などがある。

他にも障害管理、入出力管理、通信管理、セキュリティ管理、運用管理などの機能を提供している。

(1) ~ (3) の解答群

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| ア. イベントドリブン | イ. タイムスライス | ウ. フラグメンテーション |
| エ. マルチタスク | オ. マルチプロセッサ | カ. ラウンドロビン |

<設問2> 次のオペレーティングシステムの起動に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

コンピュータが動作するには、オペレーティングシステムとその下で入出力装置などのハードウェアを制御するソフトウェアである□□(4)が必要である。オペレーティングシステムの読み込みを行う□□(5)が使用されてきた。□□(5)はコンピュータ上の□□(6)に搭載されており、コンピュータの起動時に参照される。

ただし、□□(5)は起動ディスクの容量が約2TBまでという制限などがあり、現在では機能を拡張したUEFI (Unified Extensible Firmware Interface) という規格が定められ、多く使用されている。

(4) ~ (6) の解答群

ア. BIOS

イ. USB

ウ. デバイスドライバ

エ. デフォルトブート

オ. デュアルブート

カ. マザーボード

問題3 次のネットワークの利用に関する記述を読み、各設問に答えよ。

インターネットを利用するにはパソコンと各種ハードウェアの接続や各種設定を正しく行う必要がある。

＜設問1＞ 次のインターネット接続に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

インターネットへの接続方式にはいくつか種類がある。□□□□(1)は一般家庭に光ファイバー回線を引き、高速で安定した通信環境を構築する。光信号を電気信号に変換する必要があるため、□□□□(2)が必要になる。次に□□□□(3)はケーブルテレビの回線を利用して通信を可能にする方式である。

インターネット接続だけでなく、IP電話やテレビなどのサービスも利用できる。

このように□□□□(1)や□□□□(3)はブロードバンド接続として、高速伝送・大容量・常時接続の通信サービスとして利用されている。ただし、ブロードバンド接続は混雑時での最低限の通信速度や、障害やメンテナンスで通信が中断する時間の上限など品質の保証を行わず、あくまでも努力義務としている□□□□(4)である。一方、サービスの品質を保証する□□□□(5)があり、企業の基幹業務などの重要な通信回線として利用されることが多い。

(1)～(5)の解答群

- | | |
|------------|--------------|
| ア. ADSL | イ. CATV |
| ウ. FTTH | エ. HTTP |
| オ. ISP | カ. ONU |
| キ. ギャランティ型 | ク. ベストエフォート型 |

＜設問2＞ 次の無線ネットワーク技術に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

無線ネットワーク技術で代表的なものにWi-Fiがある。無線LANの国際標準規格である□□□□(6)を使用している。利用する周波数は□□□□(7)と5GHz帯に分かれる。また、Wi-Fiがない場所でもスマートフォンなどを介してパソコンやタブレット端末をインターネットに接続できる□□□□(8)という機能もある。

(6)～(8)の解答群

- | | |
|-------------|---------------|
| ア. 1.2GHz | イ. 2.4GHz |
| ウ. 3.6GHz | エ. IEEE1284 |
| オ. IEEE1394 | カ. IEEE802.11 |
| キ. ストリーミング | ク. テザリング |

問題4 次の社会における情報化や情報ネットワーク社会の諸問題に関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (1) 通信事業者が構築した閉域 IP ネットワークを利用し、契約者の拠点間だけを専用線のようにセキュリティを確保して接続する WAN サービスである。構築コストは高いが、盗聴や改ざんのリスクが低く、ネットワークの混雑の影響を受けにくい。
- (2) インターネット上にセキュリティプロトコルである IPsec や SSL/TLS の機能を使用して接続する WAN サービスである。構築コストは安いですが、ネットワークの混雑状況によっては通信品質を保証できない場合もある。
- (3) WWW に接続する際の入り口となる最初に表示される画面であり、リンクや検索エンジンのほかに Web メールなどを無料で提供する Web サイトである。広告費などで運営されていてユーザがカスタマイズできるものや Web の参照履歴をもとに、より効果的な広告を表示する機能もある。
- (4) 音声を各種符号化方式でパケットに圧縮変換し、IP ネットワーク上でリアルタイム伝送する技術である。この技術を利用することにより、インターネット上だけでなく、企業内 LAN のような閉じたネットワーク上にも電話網を構築することができる。

(1) ~ (4) の解答群

ア. IP-VPN

イ. SEO

ウ. VoIP

エ. インターネット VPN

オ. ポータルサイト

カ. ミラーサイト

(5) 映画や映像などを，ユーザの好きな時間に視聴できるサービスである。一方的に放送される映像を観るのではなく，ユーザが個々に選択した映像を，ユーザごとに送信することが可能である。

(6) 広告宣伝を目的とした電子メールの送付や個人情報の取得を事前に明示的に同意を得た相手だけに行うことである。それにより，受信者の同意なく電子メールを送信することはできない。

(7) 受信者の意向を無視して一方的に送り付けられる電子メールである。商品の宣伝やフィッシングサイトへの誘導などを目的として大量に送信される。

(8) 人の不安や好奇心をあおり，受信した電子メールを他の人に送るように様々な内容で受信者に転送を促す電子メールである。

(5) ～ (8) の解答群

ア. オプトアウト

ウ. ケーブルテレビ

オ. チェーンメール

イ. オプトイン

エ. スпамメール

カ. ビデオオンデマンド

問題5 次の情報セキュリティに関する記述を読み、各設問に答えよ。

インターネットなど外部ネットワークには、盗聴・改ざん・なりすましなどの様々な脅威が存在している。そのため、ネットワークに接続する際に十分な対策をする必要がある。

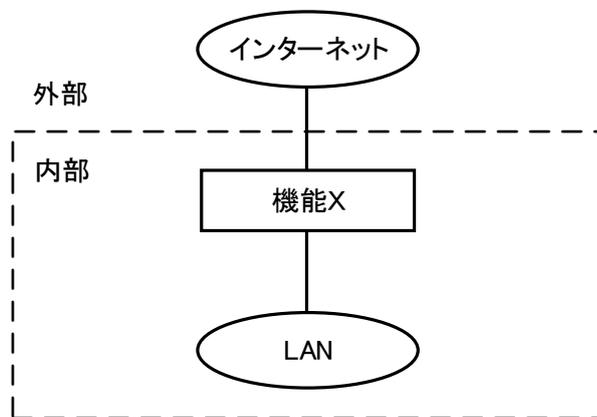


図 一般的なインターネット接続例

<設問1> 次のネットワークの安全対策に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図の機能Xは (1) といわれ、外部ネットワークと内部ネットワークの境界に設置して、両ネットワーク間の通信を制御する。専用機やルータなどのハードウェアで提供される場合とソフトウェアとして提供される場合がある。 (1) の主な機能として次のものがある。

- ① 通過を許可するパケットの IP アドレスやポート番号を設定して、許可の無いパケットの通過を遮断する (2) 機能。
- ② グローバル IP アドレスとプライベート IP アドレスの変換を行う機能。
- ③ 通過または遮断する通信をログとして記録する機能。

(1) , (2) の解答群

- | | |
|----------------|--------------|
| ア. コールバック | イ. トークンパッシング |
| ウ. パケットフィルタリング | エ. ファイアウォール |

<設問 2> 次のユーザ認証に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

パソコンやスマートフォンへの操作を許可するときに、利用者の身体的特徴を用いて認証するのが (3) 認証である。身体的特徴として顔や指紋があり、カメラや簡易な装置で個人を特定できる。顔認証では経年変化やメガネなど、指紋認証では指の状態などで精度は低くなる。経年変化も少なく認証精度が高いとされるのが、手のひらや指先の血管のパターンを利用する (4) 認証、眼球の黒目に現れるしわを利用する (5) 認証などがある。

(3) の解答群

ア. 相手 イ. バイオメトリクス ウ. メッセージ

(4) , (5) の解答群

ア. 顔 イ. 眼球血管 ウ. 虹彩 エ. 静脈 オ. 声紋

<設問 3> 次のユーザ認証に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

ネットワーク上のサーバにアクセスを許可する場合の一般的な認証方法は、ユーザ ID とパスワードを用いる方法である。しかし同じパスワードを使い続けていると不正にアクセスされ、重要なデータが攻撃されるリスクも増える。

そこで、アクセスのたびに新たなパスワードを利用するワンタイムパスワードがある。ワンタイムパスワードの代表的なものに、 (6) / (7) がある。ユーザはサーバにパスワード登録しておき、ユーザがサーバに対して認証要求を出すたびに、サーバはランダムに生成された数値列 ((6)) を返信する。ユーザはこの数値列と本来のパスワードを組み合わせ、ハッシュ関数で演算した結果 ((7)) をサーバに送る。サーバも送った数値列と登録されているユーザのパスワードからユーザと同じハッシュ関数で演算しておき、ユーザから送られた演算結果と比較して一致すれば認証する。

(6) , (7) の解答群

ア. コマンド イ. タイムスタンプ ウ. チャレンジ
エ. ライセンス オ. リクエスト カ. レスポンス

問題6 次の表計算ソフトの仕様を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

CONCATENATE 関数

複数の文字列を結合して1つにまとめた文字列を返す。

書式：CONCATENATE(文字列1, 文字列2, …)

COUNTIF 関数

検索範囲に含まれるセルのうち、条件に一致するセルの個数を返す。

書式：COUNTIF(検索範囲, 条件)

HOUR 関数

時刻を表すシリアル値から時間の値を返す。

書式：HOUR(シリアル値)

IF 関数

条件が真のときに真の場合、偽のときに偽の場合の計算結果や値を返す。

書式：IF(条件, 真の場合, 偽の場合)

MINUTE 関数

時刻を表すシリアル値から分の値を返す。

書式：MINUTE(シリアル値)

OR 関数

論理式の評価が1つでも真であれば真、すべて偽であれば偽を返す。

書式：OR(論理式1, 論理式2, …)

ROUNDUP 関数

指定した桁で切り上げた値を返す。桁数が正の数であれば小数点以下、負の数であれば小数点以上の桁になる。例えば、1の場合は小数点以下第1位より下の桁を切り上げる。

書式：ROUNDUP(値, 桁)

SUMIF 関数

指定した検索範囲の中で、条件に一致するセルの合計範囲に対応するセルの値の合計値を返す。

書式：SUMIF(検索範囲, 条件, 合計範囲)

VLOOKUP 関数

検索値を左端に含む行を範囲の中から検索し、指定した列位置の値を返す。検索の型に 0 を指定すると検索値と完全に一致する値を検索し、1 を指定すると検索値と一致する値がない場合に、検索値未満で一番大きい値を検索する。

書式：VLOOKUP(検索値, 範囲, 列位置, 検索の型)

WEEKDAY 関数

日付を表すシリアル値から曜日を表す数値(1 が日曜, 2 が月曜, …, 7 が土曜)を返す。

書式：WEEKDAY(シリアル値)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に \$ を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより、別のワークシートを参照できる。

例：ワークシート名「集計」のセル A1 を参照する場合は、「集計!A1」と記述する。

Jさんが務めるチェーン店の食堂では昼（11時～14時）と夜（17時～20時）の営業を行っている。Jさんは店長を務めており、正社員以外にアルバイトを10人雇っており、毎日昼は3人、夜は2人が勤務している。

アルバイトの給与は毎月1日から月末までの勤務時間を集計して支払っている。平日と土日祝日（以下休日と呼ぶ）では時給を変えており、休日は平日の10%増しとなっている。勤務時間は分の単位まで計算し、給与は1円未満を切り上げた額を支払っている。

Jさんはアルバイトの給与を計算するために、表計算ソフトを用いている。

[アルバイト表の説明]

アルバイトの氏名と平日の時給をまとめたものである。平日の時給は勤続年数などにより異なっている。C列は3桁カンマ区切りの表示形式にしている。

	A	B	C
1	コード	氏名	平日時給
2	A001	市川 廉	1,200
3	A002	古田 陽葵	1,050
4	A003	目黒 陽翔	1,100
5	A004	森脇 樹	1,100
6	A005	日高 紬	1,100
7	A006	若杉 凜	1,050
8	A007	荒井 大翔	1,050
9	A008	戎 朝陽	1,050
10	A009	橋口 結月	1,200
11	A010	平岡 莉子	1,050

図1 「アルバイト表」ワークシート

[祝日表の説明]

1年間の祝日の情報をまとめたものである。図2は、2021年の場合である。A列は日付を表すシリアル値で格納されており、YYYY/MM/DDの表示形式にしている。

	A	B
1	日付	祝日名
2	2021/01/01	元日
3	2021/01/11	成人の日
⋮	⋮	⋮
16	2021/09/23	秋分の日
17	2021/11/03	文化の日
18	2021/11/23	勤労感謝の日

図2 「祝日表」ワークシート

[勤務表の説明]

1か月分の勤務状況を入力したものである。A列は日付を表すシリアル値が格納されており、YYYY/MM/DDと曜日の表示形式にしている。B列はアルバイトのコードで、CおよびD列は時間を表すシリアル値が格納されており、HH:MMの表示形式にしている。図3は2021年11月のもので、データは152行まで入力してある。

	A	B	C	D
1				
2	日付	コード	出勤時刻	退勤時刻
3	2021/11/01(月)	A001	09:22	14:16
4	2021/11/01(月)	A008	09:10	14:58
5	2021/11/01(月)	A010	09:10	14:34
6	2021/11/01(月)	A003	16:18	20:54
7	2021/11/01(月)	A007	16:28	20:57
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
151	2021/11/30(火)	A006	16:37	20:41
152	2021/11/30(火)	A009	16:32	20:51

図3 「勤務表」ワークシート

<設問 1> 次の「勤務表」ワークシートの拡張に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

Jさんは勤務時間を集計するため、図3の勤務表ワークシートを複製して図4のように拡張したワークシート「勤務表集計」を作成した。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1					勤務時間			
2	日付	コード	出勤時刻	退勤時刻	時間	分	区分	検索キー
3	2021/11/01(月)	A001	09:22	14:16	4	54	W	A001W
4	2021/11/01(月)	A008	09:10	14:58	5	48	W	A008W
5	2021/11/01(月)	A010	09:10	14:34	5	24	W	A010W
6	2021/11/01(月)	A003	16:18	20:54	4	36	W	A003W
7	2021/11/01(月)	A007	16:28	20:57	4	29	W	A007W
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
13	2021/11/03(水)	A001	09:20	14:50	5	30	H	A001H
14	2021/11/03(水)	A004	09:20	14:13	4	53	H	A004H
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
151	2021/11/30(火)	A006	16:37	20:41	4	4	W	A006W
152	2021/11/30(火)	A009	16:32	20:51	4	19	W	A009W

図4 「勤務表集計」ワークシート

・E列は勤務時間のうち時間数を表示する。セルE3に次の式を入力し、セルE4～E152に複製した。

= (1)

・F列は勤務時間のうち分数を表示する。セルF3に次の式を入力し、セルF4～F152に複製した。

= (2)

・G列は平日か休日かを表す区分として、平日なら“W”，休日なら“H”を表示する。セルG3に次の式を入力し、セルG4～G152に複製した。

=IF(OR((3)), "H", "W")

・H列は集計のために必要な検索を行うときに利用する検索キーを表示する。検索キーは、コードと平日か休日かを表す文字を合成したものとする。次の式をセルH3に入力し、セルH4～H152に複製した。

= (4)

(1) , (2) の解答群

ア. (C3 - D3) / 60

イ. (C3 - D3) - ((C3 - D3) / 60) * 60

ウ. HOUR(C3 - D3)

エ. HOUR(D3 - C3)

オ. MINUTE(C3 - D3)

カ. MINUTE(D3 - C3)

(3) の解答群

- ア. COUNTIF(祝日表!A\$2:A\$18, A3)=1, WEEKDAY(A3)=1, WEEKDAY(A3)=7
- イ. COUNTIF(祝日表!A\$2:A\$18, A3)>1, WEEKDAY(A3)=1, WEEKDAY(A3)=7
- ウ. VLOOKUP(A3, 祝日表!A\$2:A\$18, 1, 0)=A3, WEEKDAY(A3)>6,
- エ. VLOOKUP(A3, 祝日表!A\$2:A\$18, 1, 0)=A3, WEEKDAY(A3)>6, WEEKDAY(A3)<1

(4) の解答群

- ア. A3 + G3
- イ. B3 + G3
- ウ. CONCATENATE(A3, G3)
- エ. CONCATENATE(B3, G3)

<設問 2> 次の「集計表」ワークシートの作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図 4 の「勤務表集計」ワークシートから図 5 の「集計表」ワークシートを作成する。
「集計表」ワークシートでは、「勤務表集計」ワークシートの H 列に求めた検索キーをもとに平日と休日の勤務時間を集計し、それぞれの時給により計算した給与を合計して I 列の合計給与を求める。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1			平日勤務		休日勤務		給与		
2	コード	氏名	時間	分	時間	分	平日	休日	合計給与
3	A001	市川 廉	25	145	24	138	32,900	34,716	67,616
4	A002	古田 陽葵	55	438	27	81	65,415	32,745	98,160
5	A003	目黒 陽翔	28	132	12	87	33,220	16,275	49,495
6	A004	森脇 樹	49	291	35	215	59,235	46,686	105,921
7	A005	日高 紬	30	133	19	73	35,439	24,463	59,902
8	A006	若杉 凜	45	184	13	39	50,470	15,766	66,236
9	A007	荒井 大翔	70	380	17	105	80,150	21,657	101,807
10	A008	戎 朝陽	31	217	25	129	36,348	31,359	67,707
11	A009	橋口 結月	60	245	26	216	76,900	39,072	115,972
12	A010	平岡 莉子	47	216	22	167	53,130	28,625	81,755

図 5 「集計表」ワークシート

- ・ A 列のコードと B 列の氏名は、「アルバイト表」ワークシートの A 列と B 列を複写した。
- ・ C 列は「勤務表集計」ワークシートの E 列に求めた時間のうち平日の時間を集計する。セル C3 に次の式を入力し、セル C4~C12 に複写した。また、セル D3~D12 にも複写して「勤務表集計」ワークシートの F 列に求めた分のうち平日分を集計する。
=SUMIF((5))
- ・ E 列は「勤務表集計」ワークシートの E 列に求めた時間のうち休日の時間を集計する。セル E3 に次の式を入力し、セル E4~E12 に複写した。また、セル F3~F12 にも

複写して「勤務表集計」ワークシートの F 列に求めた分のうち休日分を集計する。

=SUMIF ()

- ・ G 列は平日勤務分の給与を求める。時給は A 列のコードをもとに「アルバイト表」ワークシートから検索する。給与は時給を分単位に換算して計算し、1 円未満は切り上げる。セル G3 に次の式を入力し、セル G4～G12 に複写した。

=ROUNDUP (, 0)

- ・ H 列は G 列と同様に休日勤務分の給与を求める。セル H3 に次の式を入力し、セル H4～H12 に複写した。

=ROUNDUP (, 0)

- ・ I 列は平日と休日の給与を合計するため、セル I3 に次の式を入力し、セル I4～I12 に複写した。

=G3 + H3

(5) , (6) の解答群

- ア. 勤務表集計!\$E\$3:\$E\$152, CONCATENATE(\$A3, "H"), 勤務表集計!H\$3:H\$152
- イ. 勤務表集計!\$E\$3:\$E\$152, CONCATENATE(\$A3, "W"), 勤務表集計!H\$3:H\$152
- ウ. 勤務表集計!\$H\$3:\$H\$152, CONCATENATE(\$A3, "H"), 勤務表集計!E\$3:E\$152
- エ. 勤務表集計!\$H\$3:\$H\$152, CONCATENATE(\$A3, "W"), 勤務表集計!E\$3:E\$152
- オ. 勤務表集計!E\$3:E\$152, CONCATENATE(\$A3, "H"), 勤務表集計!H\$3:H\$152
- カ. 勤務表集計!E\$3:E\$152, CONCATENATE(\$A3, "W"), 勤務表集計!H\$3:H\$152
- キ. 勤務表集計!H\$3:H\$152, CONCATENATE(\$A3, "H"), 勤務表集計!E\$3:E\$152
- ク. 勤務表集計!H\$3:H\$152, CONCATENATE(\$A3, "W"), 勤務表集計!E\$3:E\$152

(7) , (8) の解答群

- ア. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * (C3 + D3) / 60
- イ. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * (C3 + D3 * 60)
- ウ. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * (C3 * 60 + D3) / 60
- エ. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * 1.1 * (E3 * 60 + F3) / 60
- オ. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * 1.1 * (E3 + D3) / 60
- カ. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * 1.1 * (E3 + D3 * 60) / 60
- キ. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * 1.1 * (E3 + D3 / 60)
- ク. VLOOKUP(A3, アルバイト表!A\$2:C\$11, 3, 0) * C3 + D3 / 60

